

臨床医学委員会 慢性疼痛分科会（第26期・第4回）議事録

日 時 令和4年7月23日（土）14:50～15:30

場 所 遠隔会議

参加者：越智、紺野、住谷、関口、戸山、中村、村井（敬称略、五十音順）

議 題

1) 公開シンポジウム後の見解（案）の内容確認

・公開シンポジウム（7/23）開催後に、現在、発出に向け査読中の見解（案）の追記修正の必要性の議論を行った。

見解（案）で提言している以下、5項目とその提言サマリー文について、記載内容に過不足なく公開シンポジウムで議論された内容が記載され、本分科会からの提言として適切であることを確認した。

- (1) 運動器疼痛対策の重要性に関する社会
- (2) 運動器疼痛に関する研究の推進を図るべきである
- (3) コロナ時代に対応した運動の実践例を国民に提示すべきである
- (4) 運動器疼痛診療を实践する医療体制の階層的構築と機能分担に努めるべきである
- (5) 運動器疼痛診療を实践する人材を育成すべきである

・その他、一次予防（運動器疼痛の発症防止）に向けた国民の健康意識の教育キャンペーンを強化すること、見解を発出した後に健康日本21の見直し時に運動器疼痛の強化が施策等に反映されるよう官民連携した取り組みが強化されるよう分科会として行動すること、の必要性が協議され、それに向けた活動を継続することが確認された。

2) 見解（案）の発出に向けた現況報告

・見解（案）は二部委員会での査読中であり、現時点で今後のタイムスケジュールは予想できないことが共有された。

以上
文責 中村